



2011年3月10日

VOL. 52

とっとり・グローバルウオッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

鳥取県広州食品商談会開催結果について 県内13社が参加、37社のバイヤーと商談

2月22日(火)～23日(水)、(財)鳥取県産業振興機構は中国一消費購買力の高い華南地域の中心地である広州(会場：花園酒店)において、安全・安心・美味で定評のある本県の各種食品の一層の販路開拓を図るため「鳥取県広州食品商談会」を開催した。

会期中には、広東省や香港から輸入商社や量販店やレストランなどのバイヤー計37社が来場され、出展企業13社と活発な商談を行い、成約3件、成約見込17件という成果が挙げられた。

■参加企業の声

参加企業からは、「海外の商談会に初めて参加しとてもいい勉強になった。商品に関心を持ったバイヤーと話を進め、1社でも輸出できるよう頑張りたい。」「短期間ながら、華南地域の主要業者が来場し、同地域へ販路拡大するきっかけができた。」など前向きな声が多く聞かれ、中国華南地域における日本食市場の可能性を確かめることができた。

当機構では、今後、ジェトロ鳥取や当財団の上海コーディネーターと連携しながら、引き続き成約に向けたフォローアップを実施する。



写真：商談会の様子

* 本事業は、中国経済産業局による平成22年度地域企業立地促進等事業費補助金(地域中小企業海外販路開拓支援事業)により実施した。

《出展者、出展品》

出展者(順不同)		主な出展品
(有)AONケミカル	鳥取市	二十世紀梨酢、梨酢飲料 など
(有)一善や	鳥取市	菓子(抹茶ロールケーキ、パウンドケーキ)
クローバー貿易(株)	鳥取市	二十世紀梨ドリンク、白山命水 など
(株)ゼンヤクノ	鳥取市	健康茶(はと麦茶、黒豆茶 など)
(株)林兼太郎商店	鳥取市	梨スパークリングワイン、二十世紀梨チューハイ など
(有)あぶい蒲鉾	琴浦町	魚肉練り製品(長いも蒲鉾 など)
(株)越河	米子市	かにみそ、甲羅グラタン など
(株)ダイヤモンド	米子市	氷温加工品(あじの南蛮漬け など)
(有)ルウ研究所	米子市	コラーゲン
(株)島谷水産	境港市	水産加工品(魚肉ハンバーグ、たたき身 など)
千代むすび酒造(株)	境港市	日本酒、焼酎、梅酒
友田セーリング(株)	境港市	水産加工品(紅ズワイ爪 など)
(株)福栄	境港市	いか醤油漬け

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援グループ 早川】

目次

鳥取県広州食品商談会 開催結果について	P 1
最新の上海 ～現地レポート～ 36	P 2
現地発！ 台湾月刊レポート 45	P 3 P 4
お知らせ	P 5

世界の祝日 4月

- 中国 3～5日 清明節
- 香港 5日 清明節
- 22日 ゲッドフライデー
- 23日 ゲッドフライデー翌日
- 25日 イースターマンデー
- タイ 6日 チャックリ朝記念日
- 13～15日 タイ旧正月
- シンガポール 22日 聖金曜日

出所：ジェトロ通商弘報
 「世界の祝祭日2011年版」から

最新上海 ～現地レポート～ 36

森ビルに日本食品アンテナショップ

上海タワーと並び上海のランドマーク的存在になっている環球金融センター（通称、上海森ビル）に日本商品のアンテナショップができる。上海森ビル3階にSIVITAという食品店があり、その中の一部がアンテナショップとして利用されるようだ。

■上海森ビルについて

上海森ビルと言えば上海一の高層ビル。地上101階、全長492mで、上海市内中心を一望できるため、言わずと知れた観光スポットでもある。また、上海森ビルはオフィスビル群の中心に位置しており、周囲には高級オフィスビルや高級マンションが林立している。

現在、上海森ビル内のオフィスワーカーは8,000人で今年春頃にはアメリカ系大手金融会社が入居するため、9,000人が勤務することになる。同ビルが満室になれば約12,000人収容予定である。一方、観光客数は約10,000人/日で、万博期間中は約15,000人/日が訪れている。

■SIVITAについて

主な客層は前項のとおり、観光客あるいは同ビルのオフィスワーカーである。観光客に対しては、お土産品になるような雑貨やお菓子、お茶などが売れ、一方オフィスワーカー達は朝食や昼食のための弁当や飲料を購入するので、店内で作られた弁当や惣菜も販売されている。

■日本商品アンテナショップについて

《概要》

運営管理元：上海万彩食品有限公司（*）
店舗面積：約300㎡
費用（テナント料）：1,000元/㎡・月＋売上の12%（コミッション）

《提供サービス概要》

①専属販売員の配置

各出店者に専属の販売員を配置。出店者が販売員

に商品知識や調理方法などをレクチャーしておけば、厨房設備があるため実演販売や試食販売なども販売員が行ってくれる。（実費は出店者負担）

②販売・売り場管理

在庫管理、販売成績管理など

③販促活動

店内展示、メルマガ配信（商品資料・POP素材は出店者提供）

④上海万彩食品とのコラボ企画（要相談）

例：出店者の商品を使用した弁当の販売、店内レイアウトなど

（*）2000年9月設立。貿易業務一般、卸・小売販売を行う。主な取扱商品は食品、飲料、雑貨、タバコなど。上海森ビル地下1階にワインショップも経営。

■上海万彩食品有限公司総経理の張志君氏から

「今回のアンテナショップ開設によって、この場所を盛り上げていきたい。上海森ビルの観光地かつ富裕層の集まる地域という立地を生かして、上海及び中国各地から訪れる観光客に対してアピールの場として欲しい。この企画はまだ始まったばかりで、決まりきったマニュアルはない分、出店者からの声を取り入れ、一緒に日本商品のPRをしていきたい。」と話す。ちなみに、同店では弁当・惣菜、お菓子、飲料、土産物の売れ行きが良く、酒はまあまあ、調味料や調理が必要な加工食品の販売が芳しくないようだ。今後販売していきたいものは、ケーキなどのスイーツ、お菓子、雑貨で、これらは、利用者層の要望に即したものだ。

中国市場へ進出するに当たり、多くの企業が展示会・商談会・物産展などに参加している。本格的に中国で販売するに至る途中に、このような常設的に販売できるアンテナショップの利用についても検討してみたいだろうか。



写真：SIVITA店内の様子

現地発！台湾月刊レポート 45

今どきの台湾流行食品

台湾で、現在流行している食品はなんだろう。それも主流から外れたもの。一番目は、なんとインスタントラーメン。そしてキムチである。流行の理由を探ってみた。

台湾で、現在流行している食品。それも主流から外れたもの。一番目は、なんと「インスタントラーメン」。日清のインスタントラーメンを創り上げた男。安藤百福さんである。そして彼は、台湾人。インスタントラーメンは、彼が日本にて独自に一から創り上げた、と日本でのメディアで紹介されている。しかし実は、台湾には、もともと油であげた麺をお湯でもとに戻すという麺がある。それを知っていた安藤さんが改良を加え作り上げたもので、一から創作したものではない、という説を台湾で初めて知った。もちろん安藤さんが偉大なことにはかわりはない。それほど台湾人も麺が大好きである。

■種類が豊富で美味しい麺の数々

台湾に行ったことがある人ならご存知のとおり、麺を食べる店が星の数ほどある。種類も豊富。日本の素うどんに近い「意麵」や「陽春麵」、ゴマだれをかけて食べる「麻醬麵」、台湾と言えば「牛肉麵」、台湾版そうめんとも言える「麵線」、台湾風汁そばである「台南担仔麵」、日本でもおなじみになった小麦粉の固まりを包丁で削って飛ばす「刀削麵」、おなじみビーフンこと「米粉」等々。麺の名前と説明だけでも一冊の報告書が書けてしまう。とにかく台湾の麺は旨いしハズレがない。食事に困った時は、とりあえず麺を食べれば間違いない。ただし日本人の好きな麺のコシを期待してはいけない。必ず柔らかい麺が出てくる。スパゲッティも台湾では、日本人が頼んではいけない代表の一つ。見ると美味しそうだが口の中に広がるのは異次元ワールドの柔らかさである。話の種に頼むのも一興ではあるが。

横道にそれだが、コンビニに行けばインスタント麺も様々なものが販売されている。この戦国麺状態の中で将

軍になっている麺がある。それが「阿舍食堂」のインスタント麺だ（写真左）。ネットで買うと2ヶ月待ちという超人気ぶりであった。私も今年に入り購入した。なんと1ヶ月待ち…。それを弊社の雀の涙ほどのボーナスとともに社員達に正月用麺パッケージを現物支給したところ、大変喜んでくれた。現金ボーナスよりも喜んでいたので、その投資効果には、正直ほくそ笑んでいる。なぜなら五個入で60台湾元ほど。つまりひと袋あたりの単価はたった12台湾元（日本円で35円ほど）である。

■安い、簡単、美味しい

これでも、インフレのせいで、かなり値上がりしている。一時は、Yahooオークションで、インスタントラーメンにもかかわらず10倍ほどの値段で取引されていたのだ。ラインナップは、台南乾麵/常温（写真右）、外省乾麵/常温、客家板條/常温（写真右）、QQ麵線/常温（写真真ん中）。なぜうけたのか。一番目に、値段設定。二番目に、お湯を入れるだけの簡便さ。三番目に、結構イケル味。四番目には、パッケージのレトロさ、ネーミングの面白さ、であろう。どれも台湾人に受ける要素を備えている。最近この会社は百貨店に初めて専門店を開いた。この安っぽいインスタント商品が、台湾通ならご存知だろうが、高級百貨店「微風広場」に店を開いたのだ。またこの店は、日本でもひょんなことから有名になった。売り場にもものすごい美人がいるのだ。この娘の写真がインターネットで広がった。彼女を見に行くだけでも価値がある。「阿舍食堂」の経営者はマーケティングの天才という人も。正月用パッケージの色味、デザインもぜひ台湾市場進出の包装見本として参考にされたい。

■台湾キムチが流行

流行食品二点目は「泡菜」である。それも台湾風創作泡菜。台湾では、もともと「泡菜」が隠れた人気。「泡菜」とは「キムチ」のこと。キムチというと皆さんは、



写真：台湾のインスタントラーメン包装はこのような感じ

韓国の真っ赤な白菜、唐辛子漬けを思い浮かべるであろう。これは、韓国泡菜という名前がついている。台湾には「台湾泡菜」という食品もあるのだ。台湾泡菜は、台湾の食堂にこっそり隠れている。ほとんどのガイドブックには載っていないが、必ず小菜（小皿）としておかずコーナーに置いてある副菜である。日本人からすると、酸っぱい白菜あるいはキャベツの浅漬のように見える。これが韓国泡菜と二分する人気の台湾泡菜だ。一見異なるものだが、「泡」が漬けるという意味から、同様な名前が付いているのだろう。ちなみに「泡菜」を台湾Yahoo辞書で検索すると、「Chinese pickled vegetables; pickles (ピクルス)」。

ここに、現代風にアレンジした台湾風創作キムチが殴りこみをかけてきた。商品自体はかなり前からあったらしいが、最近とても売れ始め、この商品もインターネットで1ヶ月待ちとなっている。味は、ちょい酸っぱいヨーグルトとニンニクのタレであえた甘ずっぱくてちょい辛いクリーム白菜だろうか。これが実に旨い。白いご飯にかけただけでパクパクと食が進む。日本のラー油＋白飯ブームにも似た感じである。この味覚は、ありそうでなかったかも知れない。素材は、大変にシンプル。白菜、ニンニク、唐辛子。たったそれだけ。当然、防腐剤は入っていない。要冷蔵食品だ。これを日本に輸入したらウケルと思う。台湾では、韓国キムチと台湾キムチの中間食品とも考えられる。日本にもありそうでない商品だ。

実は昨年、台湾と韓国の関係がアジア大会におけるテコンドー審判をめぐる緊張した。台湾女子選手が韓国人（正確には国籍が韓国ではない）審判員により装備の不備を指摘され失格処分となったのだ。この後、一斉に韓国商品のボイコットが行われた。韓国料理店に行くと非国民扱いされ、冷蔵庫から韓国キムチを捨てよう運動まで行われた。

私の個人的見解だが、この運動の中で、韓国キムチの代理として、この商品が再発見されたのではないかと疑っている。そして結果、とても美味かったと。ちなみに商品名は、色気もない「芽片」（写真上・真ん中）。2個で450元（1,400日本円）。安くはない。会社名は「小潘」。ホームページもインスタントラーメンの阿舎食堂と違い恐ろしく地味である。この会社では、日本式ワカメもラインナップとして売っている。日本の食品企業として、この味を研究してみる価値があるのではないだろうか。

《参考》

- インスタントラーメンの阿舎食堂
<http://www.chinghsin.com/main.asp>
- 台湾風創作キムチ
http://www.nicekimchi.com.tw/Yp_pickles.html

写真：台湾キムチと、スーパーの漬物系専門棚



お知らせ

環境エネルギー総合展 ENTECH POLLUTEC ASIAのご案内

タイ・バンコクで開催される東南アジア最大級のこの見本市は21年の歴史を有し、昨年の出品者は31カ国から107企業・団体、14,000名以上の来場者がありました。ジェットロでは今年も本見本市に出展します。

- ★会期：2011年6月1日～4日
- ★会場：BITEC（タイ・バンコク）
- ★ジャパンプース出品対象：
環境・省エネルギー・再生可能エネルギーに関連する製品・技術・サービス等
- ★出品料：中小企業19万円／小間
- ★申込締切：2011年4月8日（金）
- ★問合せ、申込先：
ジェットロ環境・エネルギー技術課
電話：03-3582-4877
FAX：03-3582-7508

「ENVEX2011」ジャパンプース品者 募集のご案内

韓国最大の環境・エネルギー専門見本市「ENVEX2011」は、今年で33回目の実績を誇り、国内外から5万人を超える来場者が見込まれます。韓国ならびにアジアの環境・エネルギー市場に関心のある方は、出品をご検討ください。

- ★会期：2011年6月8日～10日
- ★会場：COEX（韓国・ソウル）
- ★出品対象：環境分野、エネルギー
- ★ジャパンプース出品料：
中小企業15万円／小間（不課税）
- ★募集小間数：10小間
- ★申込締切：2011年3月31日（木）
- ★問合せ、申込先：
ジェットロ環境・エネルギー技術課
電話：03-3582-4877
FAX：03-3582-7508

2011韓国訪韓昌原(チャンオン) 自動車部品 調達商談会のご案内

KOTRA大阪では、韓国昌原で開催される自動車部品調達商談会への参加日本企業(バイヤー)を募集しています。

- ★会期：2011年5月3日～5日
- ★会場：韓国昌原(チャンオン)コンベンションセンター
- ★対象分野：自動車関連の各種部品、機資材、素材、金型など
- ★参加バイヤーへの支援内容：
宿泊ホテル無料、交通支援、商談アレンジ、無料通訳 ほか
- ★申込締切：2011年3月22日（火）
または定員になり次第
- ★問合せ、申込先：
KOTRA大阪
電話：06-6262-3831
FAX：06-6262-4607

編集後記

先日、ジェットロ広州事務所にて、現地の経済状況や日本食市場についてお話を聞くことができました。

「食は広州に在り（中国語：食在広州）」と言われるほど広州市民はグルメで、都市部住民一人当たりの食品と外食消費額は全国トップだそうです。6割以上の方が週に2回以上ランチを外食し、4割の人が2～3日に1回以上夕食を外食するというデータからも、広州市民は食道楽であることが分かります。

では、実際に日本食品を売り込む場合、どのようなことに気をつければよいのでしょうか？スーパーで売れる輸入食品の特徴として、保存期間が長いこと（最低6ヶ月）、包装がきれい（赤や金が好き）、包装を見ただけで食べ方が分かる、日本語で標記されている（舶来品イメージ）などが挙げられるそうです。広州に限らず上海や北京でも、このような輸入商品を多くみかけます。「所変われば品変わる」と言うように、その国や地域に合った商品作りが大切であると実感しました。【zao】

本誌『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでメールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構 企業支援部
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp
TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782



とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■（財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ

TEL 0857-52-6703

■ジェットロ鳥取貿易情報センター

TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■（株）さかいみなと貿易センター

TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会

TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局

TEL 0859-42-3705

■ジェットロ貿易相談デスク

TEL 0859-45-2203